

平成22年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	採択年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見直し	委員会意見等		
						全体事業概要と目的	目標年	総事業費					進捗率	事業進捗内容
								うち工事費					進捗率	
								うち用地費					進捗率	
下水道事業	4	中勢沿岸流域下水道(松阪処理区)	津市、松阪市、多気町	④	H2	333,002 (流域下水道: 88,303) (流域関連公共下水道: 244,699)	45.6% (流域: 70.6%) (流関: 36.6%)	<p>【整備済み】 (流域下水道) 処理能力: 30,400m<sup>3</sup>/日 ポンプ場: 5箇所 幹線管渠延長: 52.7km (流域関連公共下水道) 計画区域: 2,440.6ha</p> <p>【残計画】 (流域下水道) 処理能力: 63,200m<sup>3</sup>/日 ポンプ場: 1箇所 幹線管渠延長: 2.5km (流域関連公共下水道) 計画区域: 4,333.2ha</p>	<p>【費用効果分析結果】 C(費用)=359,100百万円、 B(便益)=546,707百万円、 B/C=1.52</p> <p>【コスト削減】 計画の策定及び工事の実施にあたっては以下のようなコスト削減の取り組みを行ってきた。今後も更なるコスト削減策に努めたい。 (具体的事例) ・流域関連下水道計画の見直し(市町村合併に伴う管渠敷設ルートの見直し) ・再生材の活用(砕石、アスファルト合材)</p> <p>【代替案】 汚水処理整備手法については、下水道や農業集落排水等の集合処理と、合併浄化槽の個別処理がある。経済比較や地域の地形条件、集落の形成状況、社会情勢等を考慮したうえで選定を行った結果より、本処理区を下水道計画区域とした。</p>	<p>関連市町の下水道整備の進捗にあわせて幹線管渠の整備を行い、処理場への流入水量の増加にあわせて段階的に処理施設の増設を行う。H78年度の完成を見込んでいる。</p>				
					H78	2,015 (流域下水道: 1,983) (流域関連公共下水道: 32)	100% (流域: 100%) (流関: 100%)							
					S	330,987 (流域下水道: 86,320) (流域関連公共下水道: 244,667)	45.3% (流域: 69.9%) (流関: 36.6%)							